



スポーツ庁

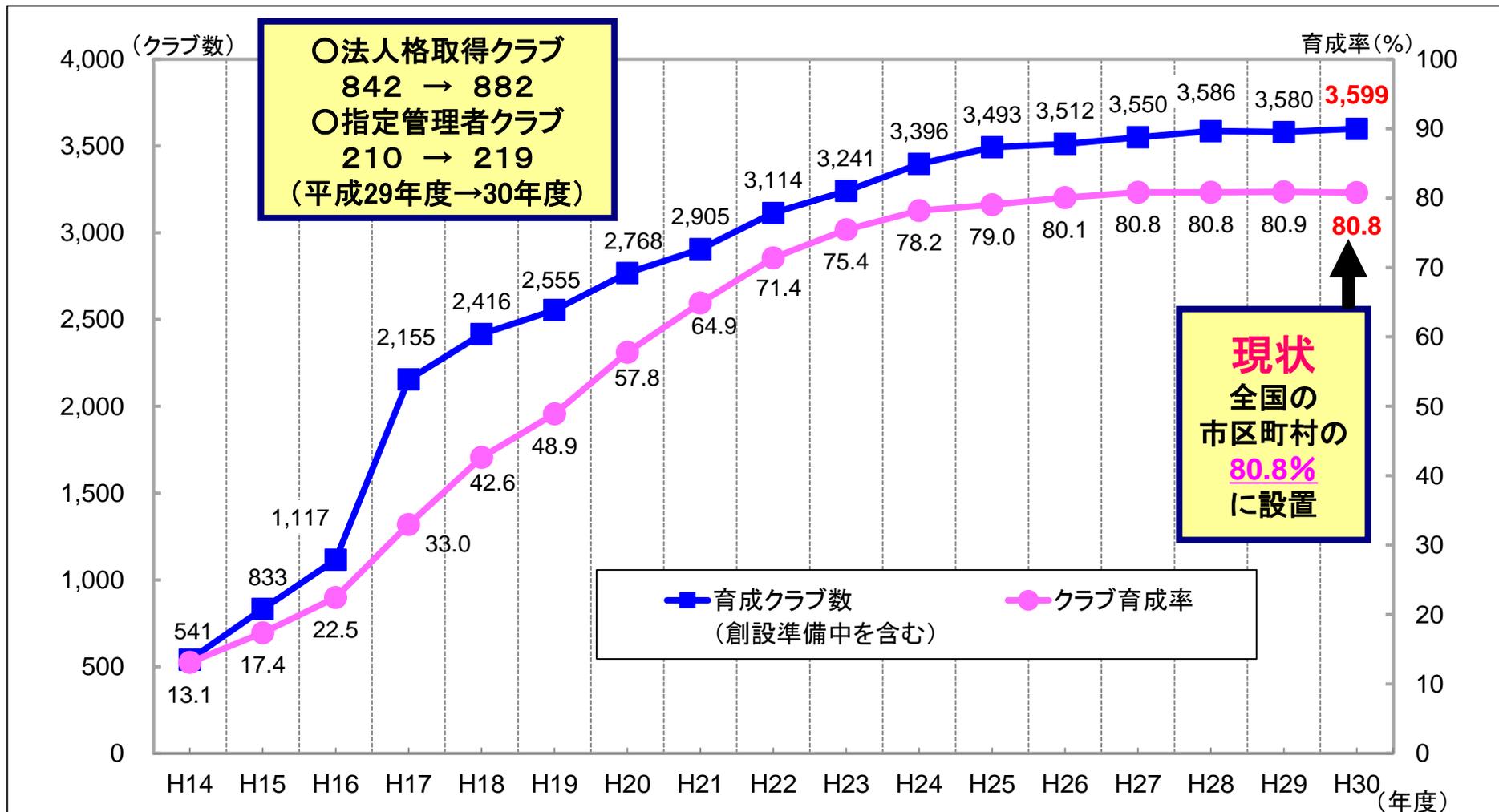
# 総合型地域スポーツクラブに関する実態調査の 結果について

平成31年3月  
スポーツ庁

# 総合型地域スポーツクラブの設置状況

(平成30年7月1日現在)

- ✓ 育成クラブ数 H30年度: **3,599 クラブ** (H29年度から19クラブ増加)
- ✓ クラブ育成率(全市区町村に対する総合型地域スポーツクラブが設置されている市町村の割合)  
H30年度: **80.8%** (H29年度から0.1%減)



# 総合型地域スポーツクラブ設置数、設置率

✓ 市区町村に対する設置状況：市部（特別区含む）94.1%・町村部 69.1%

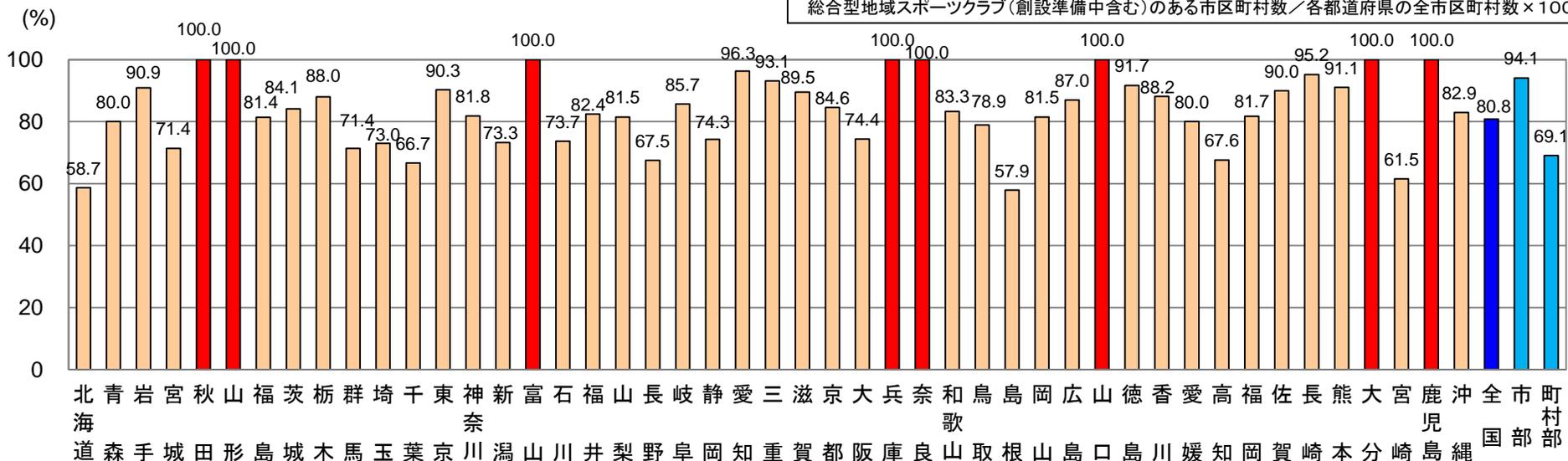
## 総合型地域スポーツクラブ数の推移（過去10年間）

※数値は各年度の7月1日現在

年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
設置クラブ数 (創設済クラブ+創設準備中クラブ)	2,905	3,114	3,241	3,396	3,493	3,512	3,550	3,586	3,580	3,599
クラブ設置市区町村(①)	1,167	1,249	1,318	1,362	1,377	1,394	1,407	1,407	1,409	1,407
全国市区町村数(②)	1,798	1,750	1,747	1,742	1,742	1,741	1,741	1,741	1,741	1,741
クラブ設置市区町村の割合 (①÷②×100(%))	64.9	71.4	75.4	78.2	79.0	80.1	80.8	80.8	80.9	80.8

## 都道府県別設置状況（平成30年7月1日現在）

総合型地域スポーツクラブ(創設準備中含む)のある市区町村数/各都道府県の全市区町村数×100



(文部科学省・スポーツ庁「総合型地域スポーツクラブ育成状況調査」結果に基づき集計) ※平成23年度データについては、岩手県、宮城県、福島県は、東日本大震災の影響により調査の実施が困難であったため、平成22年度のデータで処理をしている。

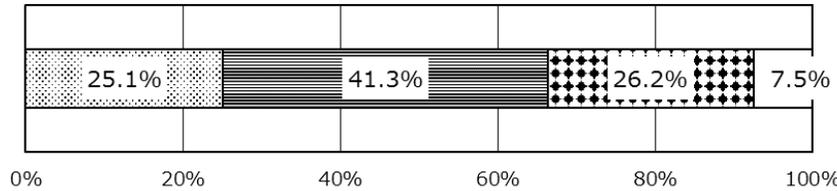
# 総合型地域スポーツクラブの活動状況

- ✓ 会員101~300人規模のクラブが、**41.3%**を占めている。
- ✓ **卓球・バドミントン**は半数近いクラブで活動種目として実施されている。

### 会員規模別のクラブの割合

■ 1~100人 ■ 101~300人 ■ 301~1000人 □ 1001人~

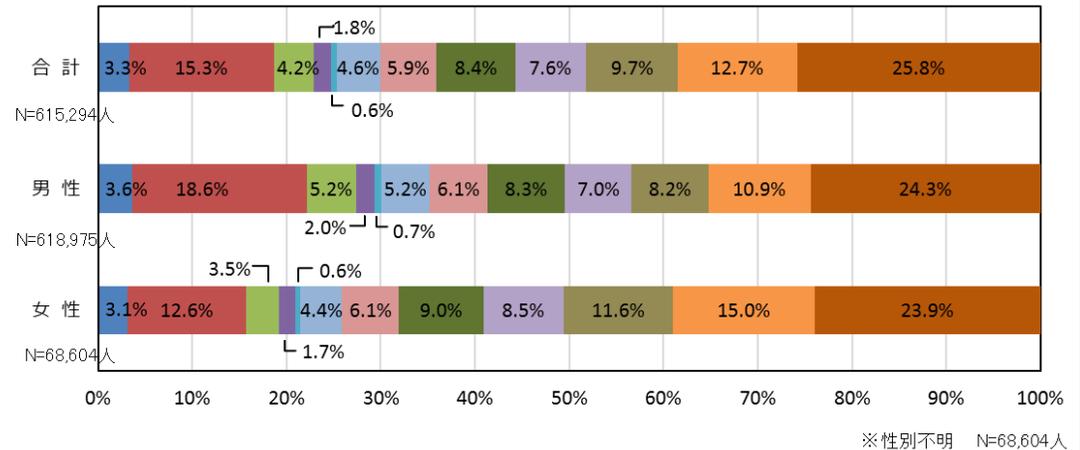
N=1,862クラブ



### 総会員数の内訳

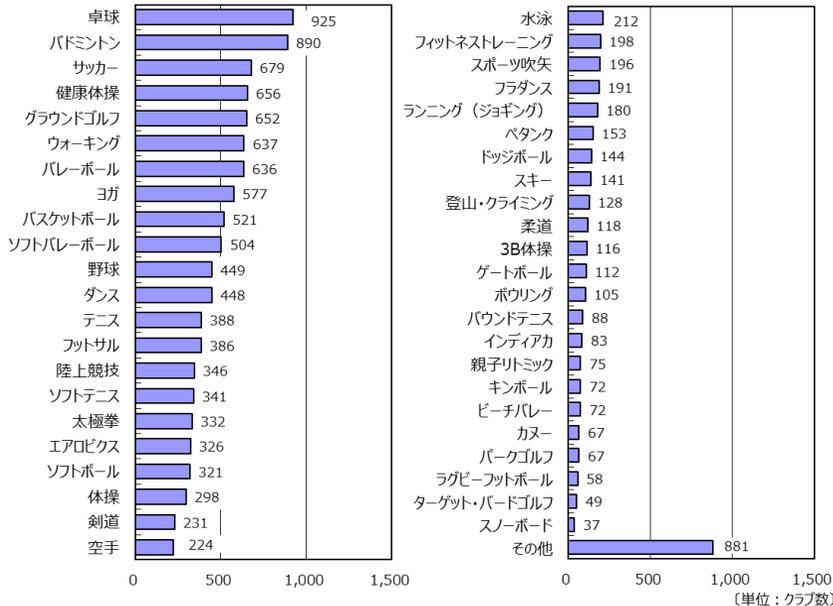
■ 未就学児 ■ 小学生 ■ 中学生 ■ 高校生 (~18歳)  
 ■ 高校生を除く10代 ■ ~29歳 ■ ~39歳 ■ ~49歳  
 ■ ~59歳 ■ ~69歳 ■ 70歳~ ■ 年齢不明

N=1,302,783人



### スポーツ・レクリエーション種目別クラブ数 (複数回答)

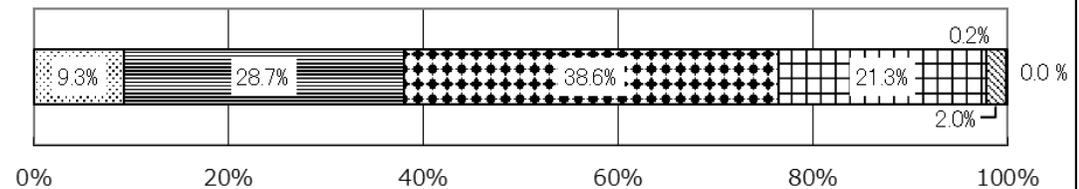
N=1,849クラブ



### スポーツ・レクリエーション活動種目数

■ 1-2種目 ■ 3-5種目 ■ 6-10種目 ■ 11-20種目 ■ 21-30種目 ■ 31-40種目 ■ 41種目以上

N = 1,849クラブ



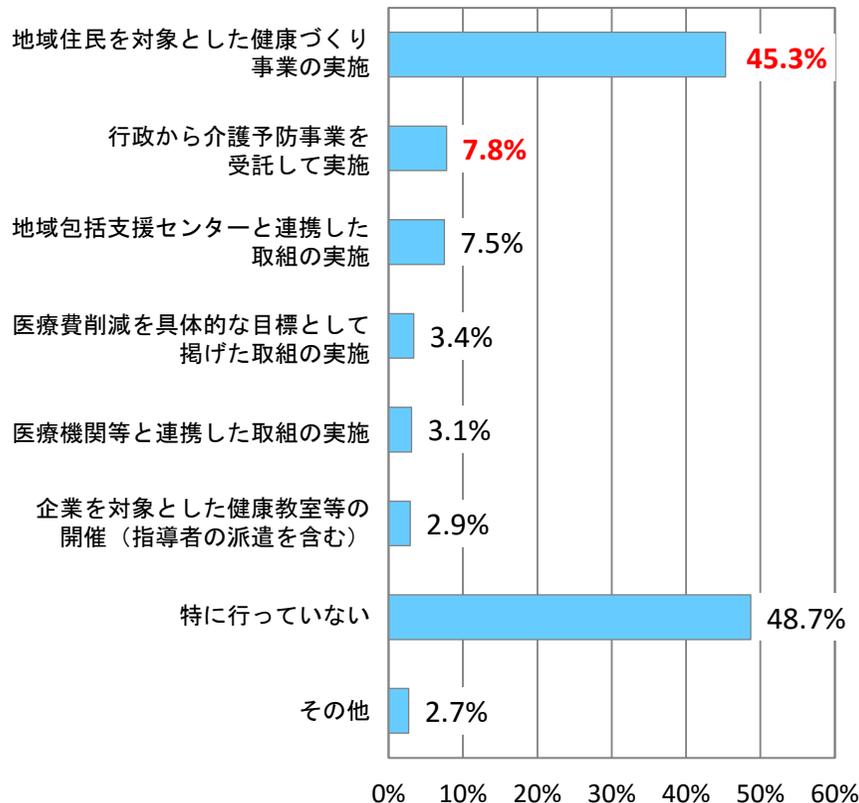
(出典) スポーツ庁「平成30年度総合型地域スポーツクラブ活動状況調査」

# 総合型地域スポーツクラブの特色ある取組①

✓ 総合型地域スポーツクラブは、**スポーツを通じた健康増進、子育て支援、学校との連携、障害者スポーツ**など特色ある多様な取組を実施。

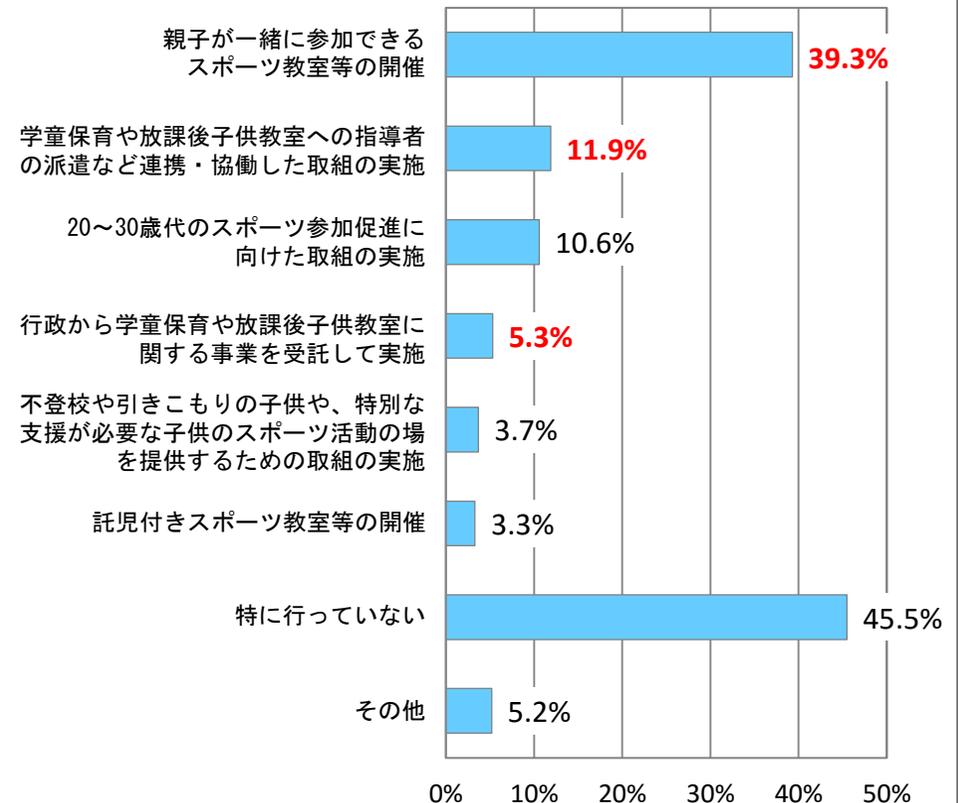
クラブの特色ある取組(複数回答)  
【スポーツを通じた健康増進】

N:1,863クラブ



クラブの特色ある取組(複数回答)  
【子育て支援・若者のスポーツ参加】

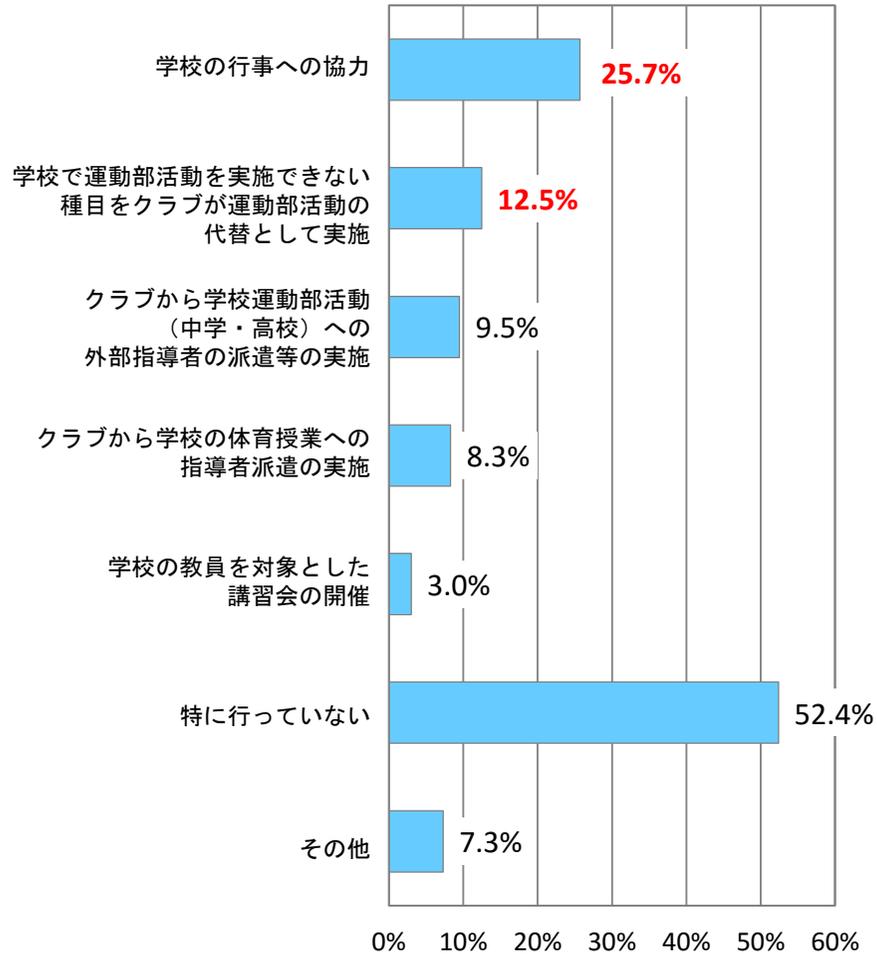
N:1,863クラブ



# 総合型地域スポーツクラブの特色ある取組②

クラブの特色ある取組(複数回答)  
【学校との連携】

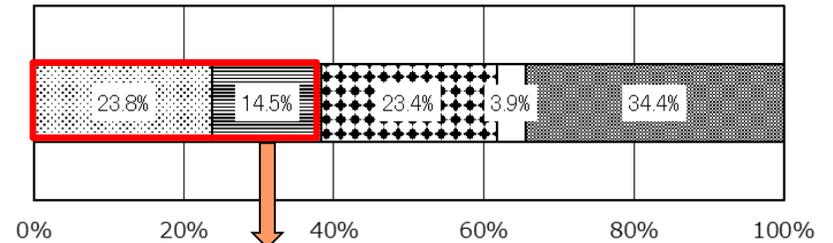
N:1,861クラブ



クラブの活動への障害者の参加

- ☑ 現在参加している
- ▣ 現在は参加していないが過去に参加していた
- ▨ これまでに参加していないが受け入れは可能である
- 今後も受け入れることはできない
- わからない

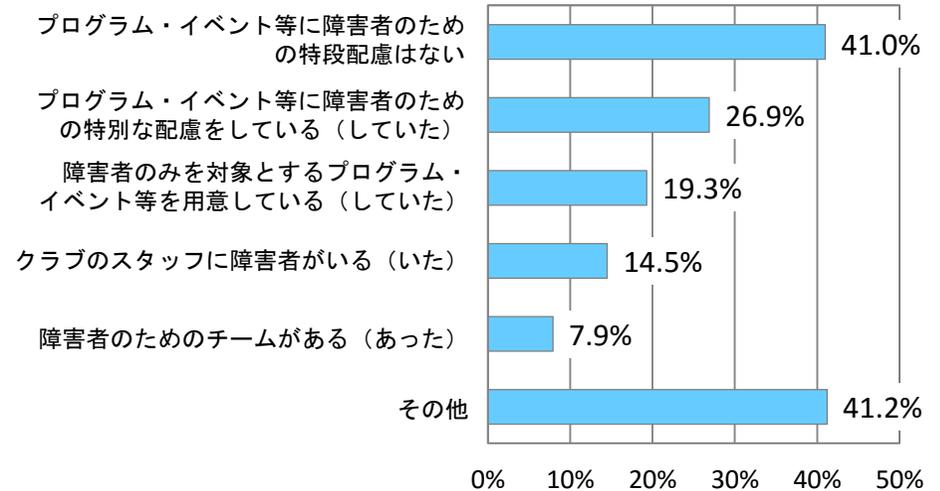
N = 1,708クラブ



クラブにおける障害者の受け入れ実績：38.3%

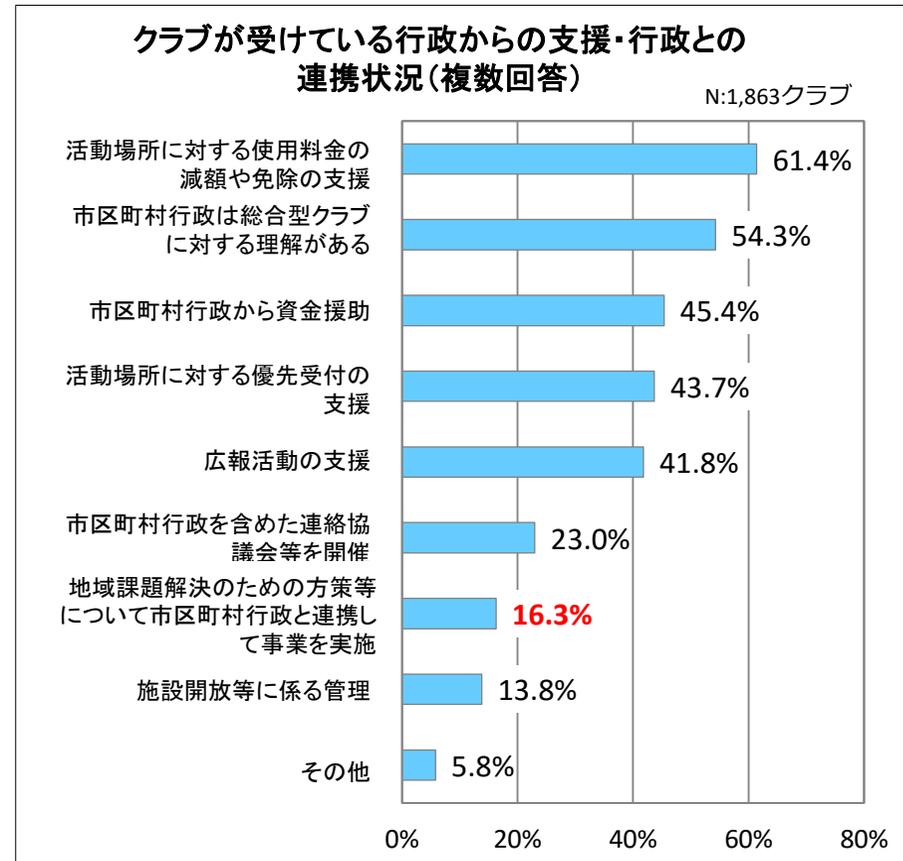
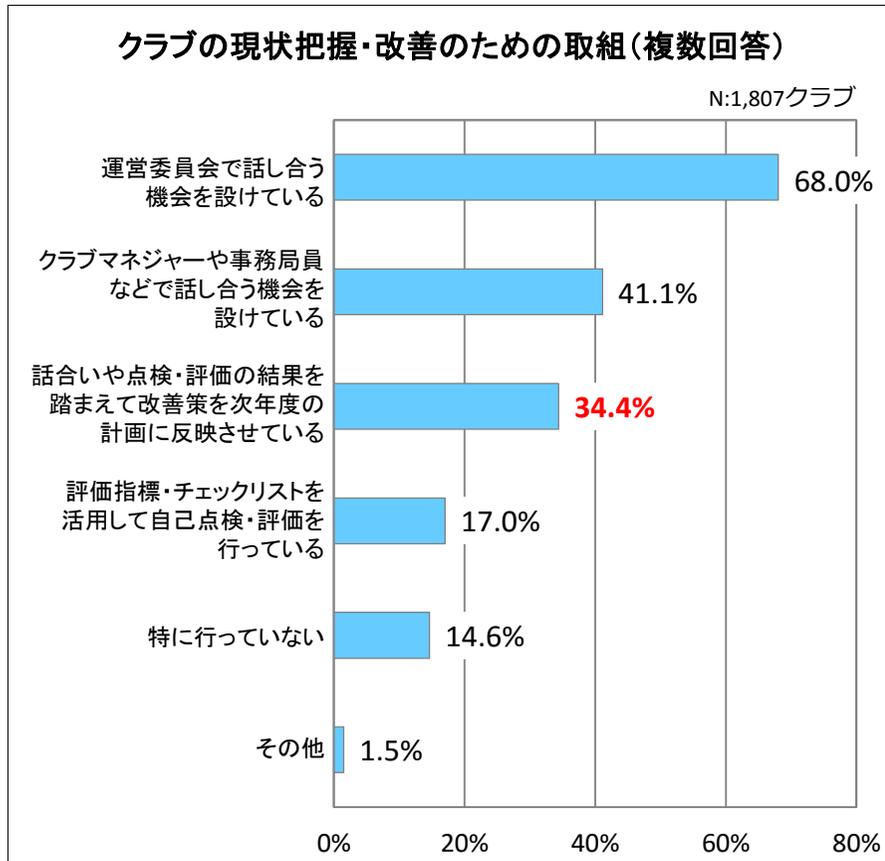
障害者のクラブへの参加状況(複数回答)

N:607クラブ



# 総合型地域スポーツクラブの自己点検、行政からの支援

- ✓ 「話し合いや点検・評価の結果を踏まえて改善策を次年度の計画に反映させている」  
クラブの割合は、H27: **37.9%** → H28: 36.4% → H29: 37.6% → H30: **34.4%**となっている。(目標: 70.0%)
- ✓ 「地域課題解決のための方策等について市区町村行政と連携して事業を実施している」  
クラブの割合は、H27: **18.4%** → H28: 23.3% → H29: 18.9% → H30: **16.3%**となっている。(目標: 25%程度)



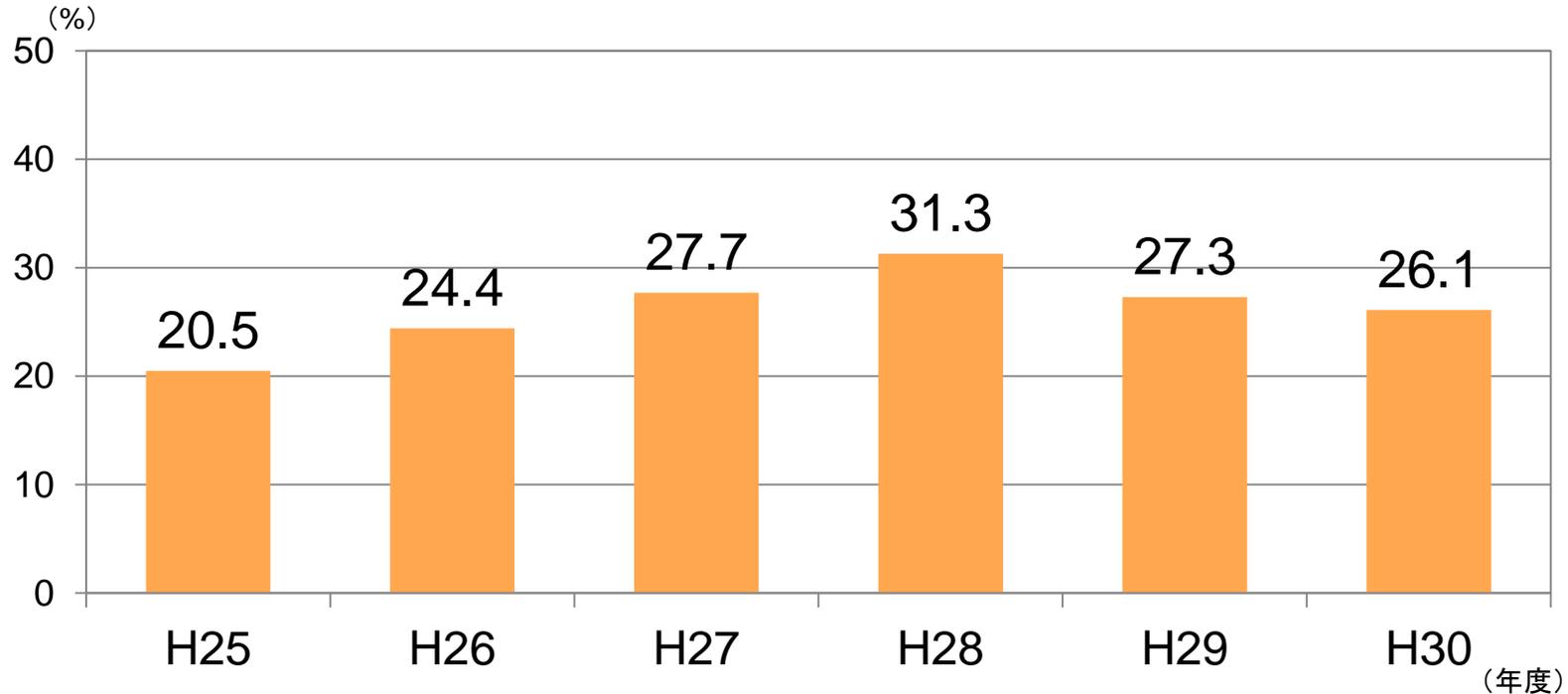
(出典)スポーツ庁「平成30年度総合型地域スポーツクラブ活動状況調査」

# 総合型地域スポーツクラブによる クラブ間ネットワークの構築等の状況

- ✓ 近隣のエリアにおいて、**総合型地域スポーツクラブとネットワークを構築し、連携・協働した事業を実施しているクラブの割合**

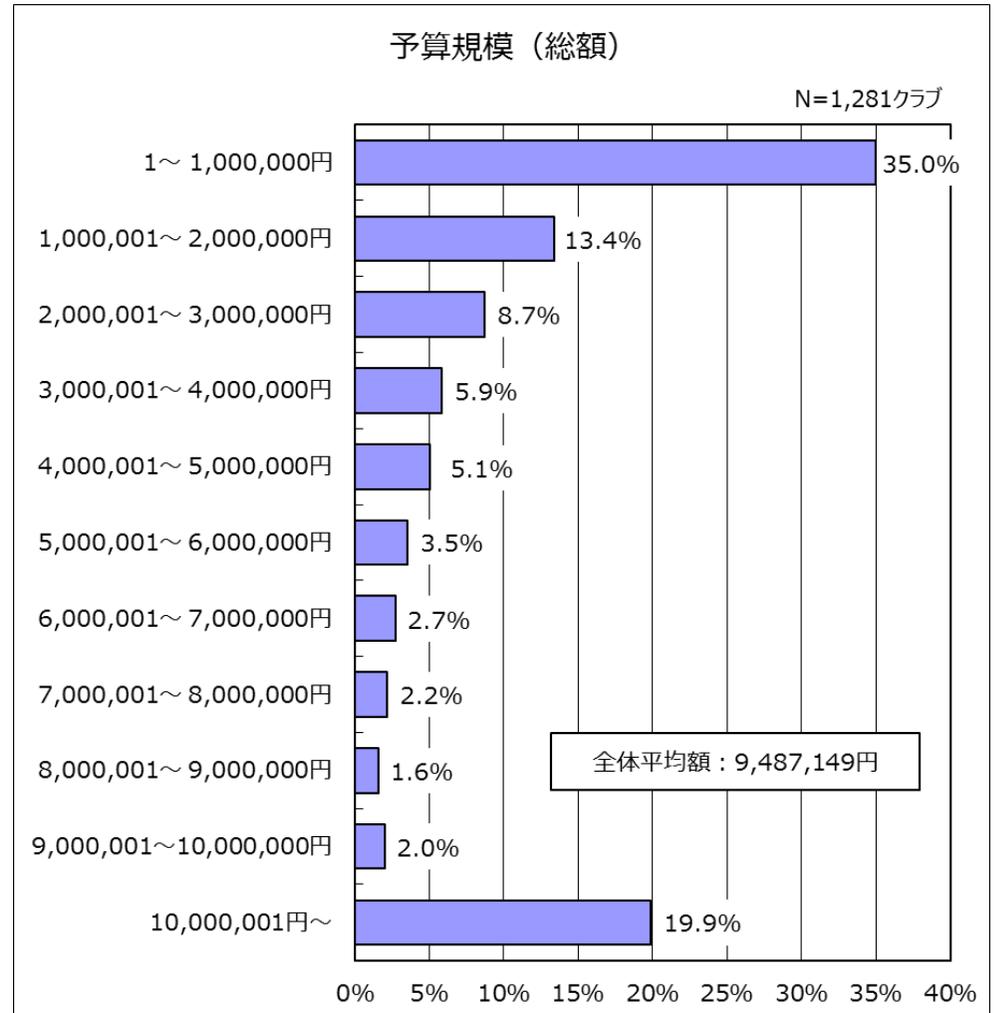
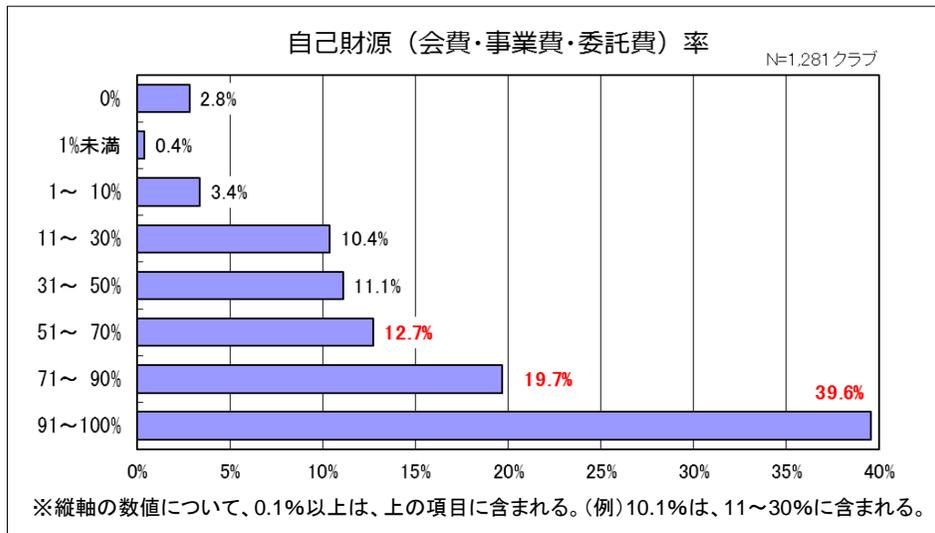
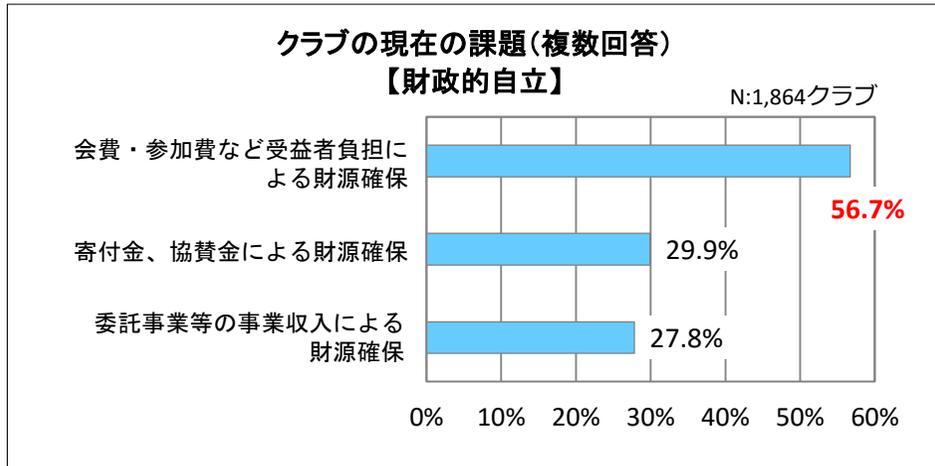
平成25年度：20.5% → 平成30年度：26.1%

ネットワークを構築し、連携・協働した事業を実施しているクラブの推移



# 総合型地域スポーツクラブの課題（財政的自立）

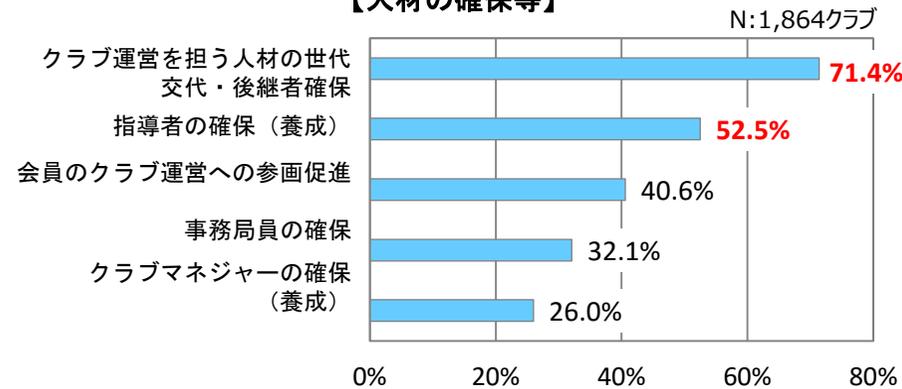
- ✓ 「会費・参加費など受益者負担による財源確保」が課題のクラブは**56.7%**
- ✓ 予算規模は委託費収入（指定管理含む）により二極化傾向にある。
- ✓ 自己財源率が「51%～100%」のクラブは**72.0%**（H17年度：31.4%）



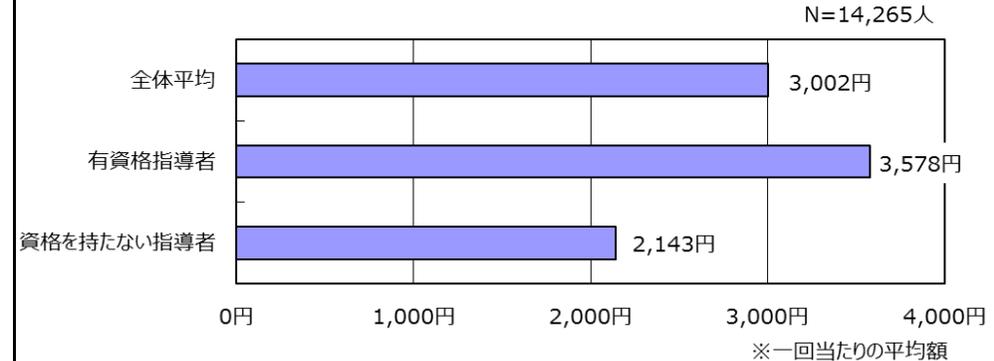
# 総合型地域スポーツクラブの課題（人材の確保等）

- ✓ 「クラブ運営を担う人材の世代交代・後継者確保」が**71.4%**、「指導者の確保（養成）」は**52.5%**のクラブで現在の課題となっている。
- ✓ 1クラブに平均17人の指導者が所属。うち、「スポーツ指導者の有資格者」の割合は **50.1%**である。
- ✓ 指導者手当の平均は**3,002円/回**、クラブマネジャー手当の平均は**6,746円/日**

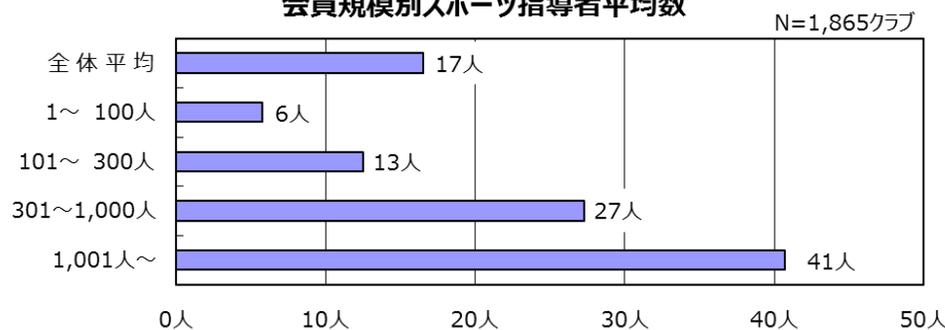
クラブの現在の課題（複数回答）  
【人材の確保等】



スポーツ指導者の有資格者別の手当の平均額



会員規模別スポーツ指導者平均数



クラブマネジャーの勤務形態別（常勤・非常勤）の手当の平均額

